



腎臓内科
部長

宮田 仁美

特色

本診療科では、健診にて蛋白尿や血尿を指摘された患者様から、急性腎障害・末期腎不全に対し腎代替療法を受けられている方まで、幅広く腎疾患の診療を行っております。末期腎不全への進行を防ぐべく、早期発見・早期治療を推進しており、腎生検を含む精密検査・治療に積極的に取り組んでおります。

また、慢性腎臓病（CKD）に対する教育入院にも力を入れております。約10年前より導入している「CKD教育入院」では、腎機能低下速度の半減効果が確認されており、受診された患者様の生活習慣の再評価・改善を図り、併存疾患への治療介入など包括的なアドバイスを提供しております。

慢性腎不全で腎代替療法が必要となる患者様には、生活スタイルに応じた最適な治療法（血液透析・腹膜透析・腎移植）の選択肢をご提案し、看護師との連携のもと、支援を行っております。

2015年末には、「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に多職種によるワーキンググループを立ち上げ、継続的に活動を行っております。同時期に腎代替療法説明外来を開設し、末期腎不全に至った際の治療選択肢や、予防のための日常生活における工夫について指導を実施してまいりました。

2024年7月からは、糖尿病性腎症に限らず、すべての慢性腎臓病患者様を対象に外来での生活指導を行い、腎機能悪化速度の抑制を目指した支援を継続しております。可能な限り「CKD教育入院」にて、従前の生活を見直し、自己管理への意識改革を促すことで、腎機能保護に寄与しております。

2018年4月には腎移植施設として認定を受け、泌尿器科と緊密に連携しながら、生体腎移植にも対応しております。2022年には腎移植外来を開設し、移植をご希望される患者様（レシピエント）および提供者（ドナー）のスクリーニング検査を含めた説明・支援を行っております。

さらに、「かつらそらまめ軍団（Katsura Team Kidney）」を中心とした啓発活動にも取り組み、院内では「世界腎臓デー（World Kidney Day: WKD）」を毎年開催しております。地域活動としては、宮津市（2024年）、福知山市（2025年）、西京区（2025年6月28日）にてCKDに関する啓発イベントを実施しております。

診療内容

対象疾患	具体的傷病名
腎疾患	<ul style="list-style-type: none">ネフローゼ症候群腎炎（一次性・二次性）急性腎障害（腎前性・腎性）慢性腎臓病（腎硬化症・糖尿病性腎症・遺伝性腎疾患）腎移植後のフォロー腎移植ドナー支援
生活習慣病・合併症管理	<ul style="list-style-type: none">高血圧症薬剤性腎障害
腎代替療法	<ul style="list-style-type: none">血液透析腹膜透析腎移植（生体腎移植）
血液浄化療法・アフェリシス治療	<ul style="list-style-type: none">血漿交換（膜分離法・遠心分離法）二重濾過血漿分離（DFPP）免疫吸着療法顆粒球除去療法（GCAP）LDLアフェリシス/レオカーナ療法

実績

入院実績 (人)		主な患者数 (入院患者数)			
年間延入院患者数	5,481	慢性腎臓病	107	急性腎盂腎炎	10
新患者数	306	ネフローゼ症候群	26	高カルシウム血症	5
外来実績 (人)					
年間延外来患者数	6,462	IgA 腎症	19	脱水症	5
新患者数	64	うっ血性心不全	17	慢性糸球体腎炎の疑い	5
1日平均患者数	26.6	急性腎不全	15	低ナトリウム血症	4

スタッフ

医師名	役職	専門分野	専門医認定 / 資格など
宮田 仁美	血液浄化センターセンター長 腎臓内科部長	ネフローゼ症候群、腎炎、急性腎不全、高血圧、慢性腎臓病、血液・腹膜透析、血液浄化療法、腎移植、腎外臓器移植後腎障害	京都大学医学部腎臓内科 臨床教授、医学博士、日本内科学会（総合内科専門医・指導医）、日本腎臓学会（専門医・指導医）評議員、日本透析医学会（専門医・指導医）、日本アフレスシス学会（認定医）、日本臨床腎移植学会（認定医）、日本急性血液浄化学会（認定指導医）、日本臨床栄養代謝学会（認定医）、米国内科学会 American Collages of Physicians(フェロー：FACP)、米国内科学会日本支部 理事
近藤 尚哉	副部長	臨床疫学、ネフローゼ症候群、腎炎、慢性腎臓病	医学博士、日本内科学会（総合内科専門医）、日本腎臓学会（専門医）、日本透析医学会（専門医）
三宅 崇文	副部長	腎臓一般 腎移植	日本内科学会総合内科（専門医・指導医）、日本腎臓学会（腎臓専門医・指導医）
高田 千紗	医長	腎不全	日本内科学会（認定内科医）、日本腎臓学会（専門医）、日本透析医学会（専門医）
松田 稜	医員	腎臓一般	

地域医療機関の先生方へ

地域医療にご尽力いただいております。近隣・周辺の医療機関の先生方と連携を深め、“二人の主治医”をコンセプトに患者さんの診療に従事したいと考えております。どうぞお気軽にご連絡ください。